

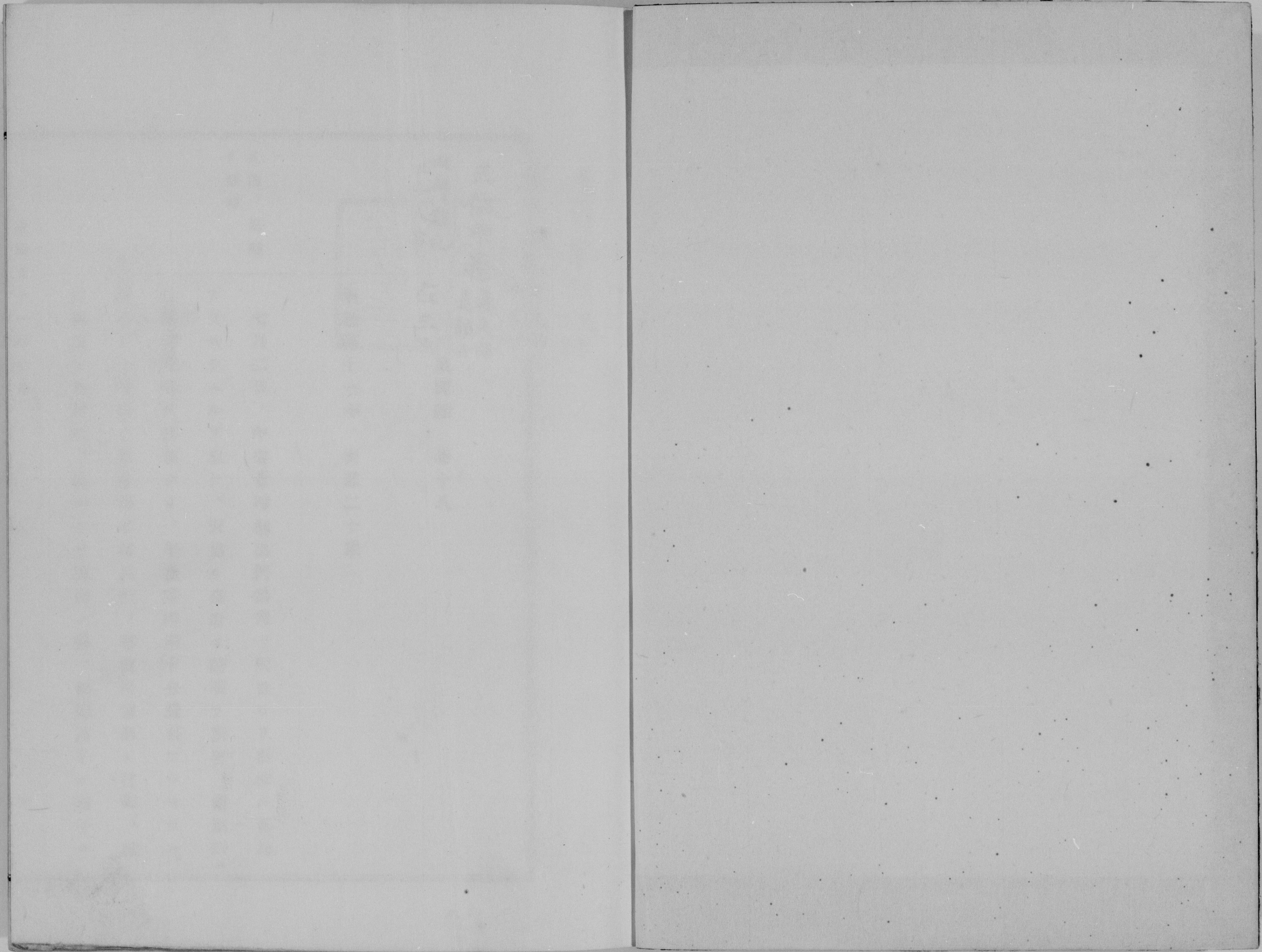
3202 175

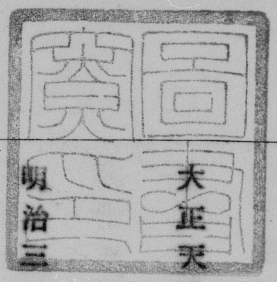
大正天皇實錄 卷十八

圖書寮	
冊號	64047
冊數	97
印號	秘 4



3202 176





大正天皇實錄 卷十八

明治三十一年 實算二十歲

參内、請暇
ヲ奏啓

七月二日、午前十時御出門參内、明日ヨリ沼津ニ轉地
アラセラルルヲ以テ、天皇・皇后ニ請暇ヲ奏啓、縮羽織・
縮緬羽織等ヲ拜領アリ、午後零時四十分還啓アラセラル。
尋イデ一時四十五分再ビ御出門、有栖川宮邸ニ行啓、威
仁親王ニ御對顔、四時十分還啓ノ後、御妹昌子・房子・

明治三十一年七月

沼津御用邸
ニ行啓

允子。聰子。多喜子各内親王ニ御對顔、允子内親王ニ角製御手遊人形ヲ、聰子内親王ニ角製御手遊人形竝ビニ瑠璃製小狗ヲ進ゼラル。常侍官日記・侍從長日記・庶務課日記・行啓録・侍從職日記・庶務課宮職日記・御直官御養育掛日録・官報・高辻修長日記

三日、午前五時三十分御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、時ニ威仁親王。貞愛親王。載仁親王。恒久王ヲ始メ御妹昌子。房子兩内親王御使伯爵佐々木高行、御妹允子。聰子兩内親王御使子爵林友幸、御妹多喜子内親王御使伯爵園基祥以下奉送スル者多シ。沼津停車場ニ於テ御下車、十時三十分御機嫌麗シク沼津御用邸ニ安著アラ

圖書寮

御動靜

セラル。是ヨリ御淹留ニヶ月餘ニ及ブ。其ノ間、静岡ニ行啓アリ、葉山ニ御二泊ノ外ハ、規律正シク御保養ヲ專一ニ行ハセラル。御保養。御衛生ニ關シテハ、常ニ親慮アリ、側近奉仕者聖旨ヲ體シ努ムル處妙カラズ、屢々常侍官會議ヲ開キテ協議ヲ重ネシガ、今回東宮賓友。東宮監督。花御殿伺候等更ニ協リテ、御淹留中ニ於ケル平常ノ御動靜ヲ左表ノ如ク規定シ、之ニ違ヒテ御行動アラセラルルニ至レルハ、特記シ奉ルベキ處ナリ。

一 午前五時 御目覺

一 同五時ヨリ五時半迄 御驗温御體操

- 一 午前五時半ヨリ六時半迄 御洗面御冷擦
- 一 同六時半ヨリ七時迄 御乘馬又ハ御散步
- 一 同七時ヨリ七時半迄 御朝食
- 一 同十時頃ヨリ午後四時頃迄 御舟遊
- 一 同十一時半ヨリ 御晝食
- 一 午後五時ヨリ五時十五分迄 御驗温
- 一 同五時十五分ヨリ六時迄 御入浴御冷擦
- 一 同六時ヨリ七時迄 御夕食
- 一 同七時ヨリ八時迄 御散步
- 一 同九時 御格子

長期ニ渉ル御淹留ハ從來屢々アリシト雖モ、斯クノ如キ
 嚴然タル規律ノ下ニ御滞在アリシヲ知ラズ。蓋シ東宮賓
 友。東宮監督以下ノ進言スル處、與ツテ尠カラザルベシ。
 今右表中ヨリ御運動ニ關スルモノ一二ヲ、御實蹟ニ就キ
 テ謹述シ、以テ如何ニ此ノ表ヲ嚴守勵行アラセラレシカ
 ヲ窺ヒ奉ラントス。

御朝食前ニ於ケル御乘馬ニハ附近或ハ楊原神社。黒瀬
 橋迄御外乗ノコトアリ、又御散歩ニハ多ク海岸ニ出デ給
 ヒ、時ニハ御乘馬ニ代ヘ自轉車ニテ御運動アラセラレシ
 コト亦尠カラズ。次ニ午前十時ヨリ午後四時頃迄ハ水雷

海上航行ニ
親マセラル

艇第五號。第十四號。第二十號。小鷹等ニ御乘艇アリ、近海ヲ航行セシメ、其ノ間、水雷發射作業ヲ台覽、淡島。瓜島ニ御上陸、御少憩ノ後、再ビ御乘艇還啓アラセラルル日多ク、時ニハ海岸ニ於テ海水浴ヲ行ハセラレ、専ラ海ニ親シマセラル。猶ホ海上御遊航ノ顯著ナル例トシテ八月一日ニハ午後六時三十分御出門、軍艦八重山ニ行啓戰鬪操練。柔軟體操等ヲ御見學アリ、更ニ翌二日ニハ午前八時三十分御出門、同艦ニ御搭乘清水港ニ行啓、端艇ニテ三保。清水間ノ沿岸ヲ御巡視アリ。御乘艦中ハ手旗信號。溺者救助艇操練。執銃體操。火災操練等諸作業ヲ

圖書寮

步兵第三十
四聯隊行啓

御見學、軍歌等ノ御慰アリ、午後四時四十分還啓アラセラル。又九月十一日ニハ軍艦須磨ニ行啓、戰鬪運動ヲ御見學、翌十二日ヨリ十八日迄連日御乘艦、近海航行ヲ行ハセラル。猶ホ軍艦。水雷艇ノ外、よつとニテ屢々近海御遊航ノ事アリ。御夕食後七時ヨリ八時迄ノ御散步ニハ附近御遊歩ノ途、牛臥ノ侯爵大山巖別邸ニ御立寄ノコト度アリ、御遊歩ナキ際ハ海軍軍樂隊ノ演奏ヲ聽カセ給フ。以上記シ奉ル處ハ御淹留中、平日ノ御動靜ノ一端ナリ。右ノ外靜岡ト葉山ニ行啓ノ事アリ。前者ハ七月十日之ヲ行ハセラル。即チ午前九時四十分沼津御用邸ヲ御出門、

葉山御用邸
ニ泊アラセラル

東宮大夫侯爵中山孝麿。東宮武官長男爵黒田久孝以下ヲ
隨ヘ、沼津停車場ヨリ汽車ニ御搭乗、十一時三十分靜岡
停車場ニテ御下車、歩兵第三十四聯隊兵營ニ行啓、大隊
及ビ中隊ノ操練ヲ始メ體操等ヲ台覽、將校集會所ニ御紋
附銀盃壹個ヲ賜フ。尋イデ午後二時四十五分靜岡停車場
ヨリ汽車ニ御搭乗、四時五十分還啓アラセラル。又後者
ハ七月二十二日ノ事ニシテ、葉山御用邸ニ泊アラセラ
ル。其ノ間、二十二日ニハ威仁親王ヲ其ノ別邸ニ訪ハセ
給ヒテ御談話アリ。二十三日ニハ夕景ヨリ親王ヲ伴ヒテ
堀内附近ヲ御遊歩アリ、北白川宮別邸ニ故能久親王妃富

子竝ビニ成久王ヲ訪ハセラレタル後、どくとる。えるう
ゐん。べるつノ別邸ニ御立寄アリ。尋イデ有栖川宮別邸
ニ臨ミ、威仁親王竝ビニ妃慰子ト晚餐ヲ御會食、十時四
十分葉山御用邸ニ還啓アラセラル。二十四日午前七時四
十分同所ヲ御出門ニテ沼津御用邸ニ還啓アラセラル。時
ニ威仁親王ハ大磯停車場迄同車シテ奉送シ、又國府津停
車場ニ於テハ御妹允子。聰子兩内親王ニ御對顔アラセラ
レタリ。
御淹留中、天皇。皇后屢々侍臣ヲ遣シ物ヲ賜ヒテ御日
常ノ御動靜ヲ尋ネシメ給フ事、毎時御轉地ノ時ノ如ク、

明治三十一年七月

御孝心

皇太子モ亦御書ヲ上リテ天機竝ビニ御機嫌ヲ奏啓アリ。
一日樞密顧問官伯爵川村純義ガ獻レル桃ヲ攝ラセラレ給
フニ、殊ノ外美味ナリシヲ以テ、更ニ純義ニ御所望アリ、
其ノ獻ル處ヲ直ニ天皇。皇后ニ進獻アラセラル。御孝心
ノ一端ヲ拜シ奉ルベシ。

供奉員

猶ホ今回ノ沼津行啓ニ當リ供奉ヲ命ゼラレタル者ニ、
東宮大夫侯爵中山孝麿。東宮武官長男爵黒田久孝。東宮
侍從長子爵高辻修長。東宮亮足立正聲。東宮侍從稻葉正
繩。同丸尾錦作。同鍋島精次郎。同子爵大迫貞武。東宮
武官村田惇。同鶴見數馬。同武富邦鼎。同山路一善。同

圖書寮

一〇

徳川篤敬亮

大磯鍋島直
在別邸ニ御

明治三十一年七月

公爵鷹司源通。侍醫桂秀馬。同西郷吉義。同伊勢鏡五郎。
同池邊棟五郎等アリ。行啓録。官報。侍從長日記。常侍
官日記。庶務課日記。高辻修長日
記。總務課進退録。御直宮御養育掛
記録。侍從職日記。皇后宮職日記
十三日、依仁親王、乘艦松島ニテ執務中負傷セルニヨ
リ、御尋トシテ東宮亮足立正聲ヲ小松宮邸ニ遣サル。庶務
課日記。
依仁親王
十六日、是ヨリ先、去ル十二日式部次長從二位勳二等
侯爵徳川篤敬亮セルニヨリ、是ノ日御使東宮亮足立正聲
ヲ其ノ邸ニ遣シ、神壹對ヲ賜フ。庶務課日記。
贈賜録
九月二十七日、午前七時五十分沼津御用邸御出門、東

一一

宮大夫候爵中山孝麿。東宮武官長男爵黒田久孝以下ヲ隨
 へ、沼津停車場ヨリ汽車ニ御搭乗、大磯停車場ニテ御下
 車、十一時四十五分神奈川縣中郡大磯町候爵鍋島直大別
 邸ニ行啓、是ヨリ御滞在二週間ニ及ブ。其ノ間、朝夕附
 近ヲ御遊歩、屢々小磯ナル宮中顧問官男爵橋本綱常別邸
 ニ御立寄アリ、時ニハ西行ノ歌ヲ以テ名アル嶋立澤ニ出
 デサセラレタリ。又御慰トシテハ九月三十日海濱ニ於テ
 大磯漁民ノ引網ヲ御覽、十月一日橋本別邸裏海岸ニ於テ
 地方有志擊劍會及ビ横濱劍客擊劍會ノ演技竝ビニ國府村
 小學校兒童ノ運動會ヲ覽給ヘルナド其ノ一端ナリ。又十

東宮武官ノ
更迭

月九日ニハ貞愛親王竝ビニ威仁親王ニ御對顔アリ、威仁
 親王ト午餐ヲ御會食、橋本宮中顧問官。中山東宮大夫等
 ニ陪食ヲ賜フ。猶ホ是ヨリ先、直大竝ビニ妻榮子ニ七寶
 花瓶壹對及ビ反物ヲ賜ヒ、直大、肥前有田焼花瓶壹對。
 同象置物。同硯屏。同筆架ヲ獻レリ。
行啓録・官報・常
侍官日記・侍從長
日記・高辻修長日記・
大正天皇隨話集
 十月一日、東宮武官陸軍歩兵少佐公爵鷹司照通。同陸
 軍砲兵少佐鶴見數馬ノ本職ヲ免ジ、照通ヲ近衛歩兵第三
 聯隊附ニ、數馬ヲ近衛野戰砲兵聯隊第三大隊長ニ轉補シ、
 尋イデ五日近衛歩兵第二聯隊中隊長陸軍歩兵大尉伯辭清

京都行啓

水谷實英ヲ、十四日陸軍砲工學校教官兼工兵會議議員陸軍工兵少佐田内三吉ヲ東宮武官ニ轉補ス。後、瀬通及ビ數馬ニ例ノ如ク賜物アリ。特ニ瀬通ニハ多年奉仕ノ勞ヲ思召シ、十二月八日御手許ヨリ短銃壹挺。同彈丸貳百發。金側時計壹個。金白金交鎖壹筋及ビ金磁石壹個ヲ賜フ。

官報・常侍官
日記・贈賜錄

十日、是ヨリ先、去ル十月三日京都行啓ノ仰アリ。然ルニ時偶々御微恙ノ爲メ之ヲ止メ、是ノ日ニ至リ御決行アラセラル。即チ午前八時十分大磯町侯爵鍋島直大別邸ヲ御出門、人力車ニテ大磯停車場ニ到リ、汽車ニ御搭乘、

名古屋借行社ニ御二泊

侯爵鍋島直大・同妻榮子。男爵三井八郎右衛門。陸軍軍醫監松本順等奉送裡ニ御發車、車中御機嫌麗シ。名古屋ニ著キ給ヘバ、停車場ニハ第三師團長陸軍中將男爵大島義昌以下奉迎ノ者多シ。御下車後人力車ニテ借行社ニ向ハセラレ、午後五時十五分御安著、邦彦王ニ御對面アラセラル。是ヨリ御二泊アリ。十一日ハ午前九時馬車ニテ御出門、官幣大社熱田神宮ニ詣テ給フ。神宮政所ニ於テ奉迎セル宮司角田忠行竝ビニ權宮司松岡義勇ニ謁ヲ賜フ。夫ヨリ冠木鳥居前ニ進ミテ御下車、御徒歩ニテ一ノ鳥居ヲ入ラセラル。時ニ東西兩樂所ノ伶人樂ヲ奏ス。是ヨリ

熱田神宮御
拜

第三師團司
令部ニ行啓

松岡權宮司ニ先導セシメ、三玉垣御門・中重鳥居・二玉垣御門ヲ經テ瑞垣御門右側ニ進ミ御手水アリ。東宮侍從鍋島精次郎之ヲ供ス。夫ヨリ御門ヲ過ギ正殿階下ニ進ミ、角田宮司ノ奉ル御玉串ヲ受ケ、更ニ階下ノ御座ニ進ミ、高案ニ玉串ヲ捧ゲ御拜アラセラル。畢リテ御退下、往路ニ從ヒテ冠木鳥居ヲ出デ、馬車ニテ還啓アラセラル。是ヨリ先、神宮ニ幣帛料金拾五圓・神饌料金五圓ヲ供ヘシメ、政所ニ金五拾圓ヲ賜フ。午後一時再ビ御出門、第三師團司令部ニ行啓、師團長陸軍中將男爵大島義昌以下名古屋在隊各將校ニ謁ヲ賜ヒテ後、諸兵ノ訓練ヲ台覽アリ。

圖書寮

京都御著

歩兵第三十三聯隊。歩兵第六聯隊。騎兵第三聯隊。野戰砲兵第三聯隊。工兵第三大隊及ビ輜重兵第三大隊ニ銀盃各壹個ヲ賜フ。二時還啓、夫ヨリ偕行社後庭廣場ニ於ケル走馬及ビ野試合ヲ台覽アラセラル。十二日午前九時三十五分偕行社御出門、名古屋停車場ニテ汽車ニ御搭乘、時ニ驛頭ニハ邦彦王ヲ始メ大島師團長。歩兵第五旅團長陸軍少將大久保利貞。愛知縣知事江木千之等奉送ス。十時名古屋停車場御發車、午後二時五十五分京都停車場ニ御下車、元帥侯爵山縣有朋。歩兵第十九旅團長陸軍少將波多野毅。陸軍少將河野政次郎等ノ奉迎ヲ受ケ給フ。尋

二條離宮御
滯在中ノ御
動靜

イデ馬車ニテ二條離宮ニ到ラセラル。時ニ三時二十五分ナリ。是ヨリ御滯在中ノ御動靜ヲ窺ヒ奉ルニ當リ、山陵御參拜。神社行啓。宮邸行啓及ビ名勝御遊行ノ各方面ヨリ隨述セントス。

孝明天皇山
陵御參拜

桓武天皇平安京ニ奠都ノ後、時ニ盛衰アリト雖モ、一千餘年間此ノ地ヲ帝都ト定メサセ給ヒ、山陵モ亦京都ヲ中心トシテ築カセ給フ御慣シナリシカバ、山陵ノ多キコト全國ニ冠タリ。歴代ノ山陵ノミヲ數フルモ實ニ五十九ヶ所ニ達ス。サレバ今回は等ニ悉ク御參拜ノ御日程ナキヲ以テ、先帝孝明天皇ノ後月輪東山陵。英照皇太后ノ後月

圖書寮

輪東北陵ヲ主トシ給ヒ、併セテ近陵。泉山山陵ニ行啓、親シク參拜アラセラルルニ止メ給ヘリ。即チ十月十九日ニハ正装ヲ召シ、東宮大夫侯爵中山孝麿。東宮侍從長子爵高辻修長以下ヲ隨ヘ、馬車ニテ午前九時二條離宮ヲ御出門、泉涌寺ニ於テ御少憩、御手水ノコトアリ、東宮侍從鍋島精次郎之ヲ奉ル。更ニ馬車ニテ後月輪東山陵制札前ニ到リ給ヒ御下車アラセラル。是ヨリ諸陵助藤田健ニ先導セシメ山陵前ニ進ミ、濱床下ニ於テ玉串ヲ藤田諸陵助ヨリ受け給ヒテ、濱床ニ昇リ之ヲ供ヘ御拜アラセラル。尋イデ月輪陵。後月輪陵城前ニ於テ光格。仁孝兩天皇ノ

英照皇太后
御參拜

諸院ニ東宮
侍從並遣

山陵竝ビニ諸山陵御拜、畢リテ再ビ泉涌寺ニ御少憩、十
 一時還啓アラセラレタリ。後、二十一日ニハ英照皇太后
 ノ後月輪東北陵ニ御參拜アリ。十九日ト同様ニ正裝ヲ召
 サセラレ、御拜ノ次第モ亦前日ニ同ジ。猶ホ嵯峨天皇
 峨山上陵。文德天皇田邑陵。陽成天皇神樂岡東陵。光孝
 天皇後田邑陵。冷泉天皇櫻本陵。花山天皇紙屋上陵。三
 條天皇北山陵。後一條天皇菩提樹院陵。後白河天皇法住
 寺法華堂。後堀河天皇觀音寺陵。後嵯峨天皇嵯峨殿法華
 堂。龜山天皇龜山殿法華堂。同皇后信子蓮華峯寺陵。後
 宇多天皇蓮華峯寺陵。同皇后始子内親王今林陵。花園天

圖書寮

賀茂兩社。
 平野神社。
 平安神宮等。
 ニ御參拜

皇十樂院上陵。慶光天皇廬山寺陵等ニハ東宮侍從ヲ御代
 拜トシテ參向セシメラレタリ。蓋シ御成年ニ還シ給ヒシ
 旨ヲ、奉告セシメ給ヘルモノト拜察セララル。御
 御動靜ノ二トシテ神社行啓ニ關シ、是ヨリ敍シ奉ラン
 トス。京都ニハ官幣大社ノミヲ數フルモ七社アリ、其ノ
 他官幣中社。別格官幣社ニ及ビテハ數フルニ過ナシ。サ
 レバ今回ノ御滞在ニ當リ各社ニ詣デサセ給フ御暇無キヲ
 以テ、官幣大社ニアリテハ賀茂下上兩社竝ビニ平安神宮。
 平野神社ニ、官幣中社ニアリテハ白峯宮竝ビニ北野神社
 ニ行啓アラセラル。男山八幡宮。稻荷神社。八坂神社。

護王神社。豐國神社。梨木神社ニハ侍臣ニ御代拜ヲ命ジ給ヘリ。

賀茂兩社ニハ御滯京猶ホ日淺キ十月十八日行啓アリ。即チ午前九時二條離宮ヲ御出門、東宮武官長男爵黒田久孝以下ヲ隨ヘ、先ヅ糺ノ森ノ翠綠中ニ丹塗ノ鳥居ヲ以テ名アル下賀茂ニ到リ社務所ニ御少憩ノ後、參拜アラセラル。抑、當社ハ玉依姫命。賀茂健角身命ニ柱祭神タリ、上賀茂ト共ニ山城國一ノ宮ニシテ延暦奠都以來皇城鎮護ノ神トシテ歷朝ノ崇敬特ニ厚ク、王政維新トナルヤ、明治元年八月天皇親シク御拜アリ、同二年三月東京行幸ニ

官幣大社賀茂御祖神社

官幣大社賀茂別雷神社

際シテモ亦同ジク御拜アラセラレタリ。此ノ如キ由緒ノ大社ナレバ、今回行啓ニ當リテモ、他社ニ先ダチ御參拜アラセラレタルハ又故ナシトセザルベシ。御參拜後、再ビ馬車ニテ上賀茂ニ行啓アリ、官幣大社賀茂別雷神社ニ參拜アラセラル。尋イデ古例ノ競馬ヲ台覽アリ。抑、上賀茂ノ競馬ハ毎年五月五日之ヲ行フヲ慣例トスレドモ、今回皇太子親シク御參拜アリシヲ以テ、特ニ之ヲ台覽ニ供シ奉レルナリ。台覽後、十一時五十五分還啓アラセラル。猶ホ官幣大社平野神社。官幣中社北野神社。同白峯宮ニハ十一月七日行啓アリ。御參拜前ノ如シ。斯ク御滯

賀陽宮・伏見宮邸行啓

在中主ナル神社ニ親シク御參拜アリ、神祇崇敬ノ範ヲ示サセ給フ。

次ニ御動靜ノ三トシテ賀陽宮。伏見宮及ビ侯爵山縣有朋別邸等ヘノ行啓ニ關シ謹述スベシ。賀陽宮ニハ十月二十五日行啓、邦憲王ニ御對顔約一時間ニ及バセラレ、又伏見宮別邸ニハ同月三十一日行啓アリ、貞愛親王ニ御對顔、暫時御歡談アラセラル。又、公衙。學校其ノ他ニ行啓ノ事ヲ合敘スレバ、十月二十一日ニハ華族會館分局ニ行啓、在住華族一同ニ謁ヲ賜ヒテ後、廣間ニ於テ蹴鞠及ビ席畫等ヲ台覽アリ。御歸途中山侯爵家舊邸ヲ過リ、祐

公衙・學校等ニ行啓

諸學校ニ東宮侍從御差遣

ノ井ヲ覽給ヘリ。二十二日ニハ教育品展覽會場。新古美術會ニ、二十四日ニハ帝國京都博物館ニ行啓、尋イデ武德會ニ臨マセラレ、會員ノ柔術。劍術。弓術ヲ台覽、夫ヨリ水利事務所ニ御立寄アリ、發電機械場ヲ御巡覽、南禪寺前橋上ニテいんくらいんヲ覽給ヒ、更ニ御徒歩ニテ侯爵山縣有朋ノ別邸ニ到ラセラル。又十一月一日ニハ桂離宮行啓ノ後、京都府立簡易農學校ニ臨ミ、生徒ノ米穀收穫實地操業ヲ台覽アラセラレ、尋イデ農作物試作場ニモ御立寄アリ。蓋シ農事御獎勵ノ思召ナリ。其ノ他、京都帝國大學。第三高等學校。京都府師範學校。京都府立

尋常中學校。同高等女學校。同京都商業學校。同美術工
 藝學校。同染織學校。同盲啞院等ニハ東宮侍從ヲ遣シ學
 業ノ狀ヲ觀察セシメ、且ツ京都府立竝ビニ市立各學校ニ
 ハ資金トシテ金五千圓ヲ賜ヒ、教育ヲ獎勵アラセラル。
 京都御滯在中ニ於ケル主ナル御動靜ノ一斑ハ上記ニ於
 テ略シ拜察セラレタルヲ以テ、是ヨリ御見學竝ビニ御遊
 行等ニ就キテ述べ奉ラントス。

二條離宮ニ就キテハ十月十三。十四日兩日ニ亙リ、殿
 學子爵六角博通ニ説明ヲ啓セシメ、親シク御巡覽アリ。
 抑々當離宮ハ往古ノ大内裏ノ東南ニ位シ、慶長八年徳川

二條離宮御
 見學

圖書寮

家康ノ造營セル舊二條城ニシテ、元來臺下ノ鎮營ヲ主ト
 ナシ、兼ネテ將軍上洛ニ際シ宿營ニ充ツルヲ目的ト爲シ、
 其ノ半面ニ於テ幕府ノ權勢ヲ示サントセシモノナリ。サ
 レバ殿舎ノ構造華麗ヲ盡シ、其ノ壯觀人目ヲ眩スモノア
 リ。殿舎ノ主要部分ハ古ノ二條城二ノ丸ノ遺構ニシテ、
 車寄。遠侍。大廣間。黒書院。白書院等ヨリ成リ、格天
 井。襖。床等ハ狩野興意。探幽。尚信等ノ畫筆ヲ以テ飾
 ラレ、床。遮棚等ノ規模ノ大ナルモノ自ラ桃山時代ノ特
 徴ヲ現ハセリ。本丸ハ天明ノ火災ニ類焼シ、永ク荆棘ノ
 巷ト化セシガ、去ル明治二十六年桂離宮ノ一部建物ヲ移

シテ新築、新築謁見所ト云フ。次ニ林泉ハ大廣間ト黒書院トノ西南方ニアリ、所謂枯山水ノ景ト稱セラルル大池アリ、奇岩怪石點綴散在シテ風致ヲ窮メ、朝夕御慰ノ資タリ。

仙洞御所御見學

仙洞御所ニハ十月二十一日英照皇太后山陵御參拜ノ後御立寄アリ、六角殿筆ニ先導セシメ、庭園ヲ御遊歩アラセラレタリ。抑々當御所ハ徳川幕府後水尾上皇ノ御爲メニ造營セシモノナリシガ、後、數度ノ回祿ニ罹リ、殊ニ嘉永七年ノ際ハ、上皇在サザリシ爲メ宮殿造營ノコト無カリシカバ、遂ニ林泉ノ幽寂閑雅ヲ傳フルニ止マレリ。

庭園ハ寛永年間造營ノ舊觀ヲヨク存シ、名苑ノ一ト稱セラル。林泉ハ東ニ深林ヲ負ヒ、西ニ向ヒ、舊常御殿ヨリ正面ニ望ムベク築カレ、東西凡ソ一町、南北三町餘、中ニ大池アリ、加茂川ノ水ヲ引キテ之ヲ造レリ。怪岩奇石、龍蟠虎蹲前ニ峙チ後ニ伏シ、茂樹密林ト相争ヒ深山大澤ニ入ルノ概アリ。其ノ間ヲ皇太子歩マセ給フ專暫時、精華亭ニ入ラセラル。亭ハ池水ノ邊ニアリ、結構淡雅ニシテ樹竹清楚タリ。北望スレバ林泉ノ形勝自ラ眸中ニ收リ、橋ヲ隔テ飛瀑ヲ觀ル。風景眞ニ佳ナリ。即チ御少休アリ、尋イデ夕景還啓アラセラル。

修學院離宮
御見學

次ニ修學院離宮ニハ十月二十三日行啓アリ。午前九時三十分二條離宮御出門、高野川ノ東、比叡山ノ西麓ニ位スル離宮ニ著キ給フヤ、六角殿掌ノ先導ニテ先ツ上ノ御茶屋所々ヲ御巡覽アラセラル。抑々當離宮ハ御茶屋ト稱シ、地勢ノ高低ニ從ヒ上中下ニ分タレ、上ノ御茶屋ハ最大ニシテ離宮中主要ナルモノナリ。山ヲ貢ヒ野ニ臨ミ、中ニ大池アリ、浴龍池ト云フ。御遺造ニ當リ山下ニ於テ松茸數本ヲ御自ラ採摘ノ御慰アリ、供奉員等モ亦濕地茸ヲ採取ス。即チ濕地茸ヲ晝餐ニ際シ供進セシメラル。晝餐ヲ攝リ給ヘル隣雲亭ハ構作清楚優美ヲ以テ名アリ、加

圖書寮

桂離宮行啓

フルニ眺望絶佳、京洛ノ城邑山川均シク一眸ニ入ル。御食後、中ノ御茶屋ニ出デサセラレ、音羽御所ノ名アル林丘寺ヲ經テ下ノ御茶屋ニ到リ憩ハセラル。斯クテ當離宮ヲ御見學ノコト半日餘ニシテ、午後三時四十分還啓アラセラル。因ニ修學院離宮ハ徳川幕府後水尾上皇ノ御爲メニ營ミ、時々御幸アリテ愜慮ヲ慰メ奉リシヨリ爾來、上皇宸遊ノ地トシテ明治維新ニ及ビ離宮トナレリ。

次ニ桂離宮ニハ十一月一日行啓アリ、約二時間ニ沙リテ御見學、離宮ニテ晝餐ノ後、御苑ヲ巡覽アラセラル。因ニ桂離宮ハ天正ノ末年八條宮智仁親王ノ爲ニ豊臣秀吉

飛雲閣御遊覽

ガ築キシ處ニシテ、書院・林泉共ニ小堀遠州ノ作ト傳フ。後、寛永年間御幸殿・新御殿等ノ新築ヲ見タリシガ、臺殿亭榭何レモ屈折刻畫ヲ極メ、樹竹水石ノ妙盡シ京師隨一ト稱セラル。明治十四年淑子内親王薨去ノ後、同十六年改メテ離宮トナリ、以テ今ニ及ブ。其ノ林泉ハ人工ノ極巧宛然天然ノ如ク、縱瞻横眄皆姿趣ヲ成シ、始メ無ク終リ無ク、環ノ端無キガ如シト稱セラル。

此ノ外建築・庭園ヲ以テ知ラレタルモノニ、西本願寺飛雲閣・東本願寺枳殼邸アリ。前者ニハ十一月一日桂離宮ノ歸途御立寄アリ、大谷光瑞等ニ謁ヲ賜ヒ、約一時間

圖書寮

枳殼邸御遊覽

御遊覽アラセラル。閣ハ滴水園内滄浪池ノ畔ニ臨ミ、三層閣書院造ナリ。天正十五年豊臣秀吉ノ築ケル聚樂第ノ古建築物ニシテ、永徳・山樂・元信等狩野家ノ名匠交々畫筆ヲ競フヲ以テ殊ニ名アリ。後者ニハ十一月五日午後一時二條離宮御出門ニテ行啓アリ、邸ニテ貞愛親王ニ御對面、伯爵大谷光益竝ビニ妻恒子及ビ子光演ニ謁ヲ賜ヒ、御少憩ノ後、園内ヲ一週アラセラル。抑々此ノ地ハ往昔、河原左大臣源融ノ河原院ノ一部ニ屬シ、陸奥千賀鹽竈ノ風光ヲ愛シ、攝津難波ノ津ヨリ潮水ヲ汲ミ來リテ焚カシメタル、風流ノ跡ナリト云フ。寛永年間徳川家光此ノ地

嵐山御遊覽

ヲ本願寺宣如上人ニ附與シ、桃山ノ舊構ヲ移シ、石川丈山ニ囑シテ林園泉石ノ風致ヲ修築セシメ、特ニ臨池亭ノ庭ハ小堀遠州ノ好ミニ出ヅト云ヒ、紫藤岸ノ藤ハ後水尾上皇ノ賜ヘルモノニシテ、池中ノ小嶋ニ存スル九重ノ石塔ハ、融ノ古墳ト傳フ。御一巡ノ後、眞宗中學校生徒ノ運動會ヲ台覽、四時還啓アラセラレタリ。

古代建築・造園ノ美ヲ各所ニ索メ給ヘル事概ネ斯クノ如シ。而モ之ニ儻焉シ給フ所ナク、更ニ景勝ノ地ニモ御遊行アリ。嵐山ニハ十月二十六日ニ行啓、伯爵大谷光盛ノ別邸ニテ晝餐^御後、零時四十五分ヨリ御乗船、大堰川

圖書寮

東山御遊歩

ヲ湖ル事凡ソ三十分、其ノ間投網。捕魚ノ御慰アリ、大悲閣下ニ御上陸、御徒歩ニテ左ニ小徑ヲ經テ渡月橋ヲ渡リ、八賞軒ニ御少憩、尋イデ後方ノ山路ヲ散策アラセラ^ルル事暫時ニシテ、再ビ大谷別邸ニ御立寄アリ。歸途太秦村廣隆寺ヲ過リテ八角堂ヲ御覽、三時五十五分還啓アラセラ^ルル。

東山附近ニハ其ノ翌日即チ十月二十七日知恩院境内ヲ御遊歩ノコトアリ。東南山上ニ到リ鐘樓ニ於テ御少憩アラセラル。時ニ寺僧大鐘ヲ撞キテ御覽ニ供ス。洪鐘ハ寛永年間ノ鑄造ニシテ、日本有數ノ巨鐘トシテ知ラル。既

御室御遊歩

ニシテ樓ヲ出デ、更ニ丸山公園ヲ御散策アラセラル。次ニ御室ニハ十一月二日行啓アリ、華頂山仁和寺ニ於テ大師堂ヲ覽給フ。夫ヨリ御徒歩ニテ廣澤池附近ヲ御遊歩ノ後、人力車ニテ巖崎野ニ出デサセラレタリ。又黒谷ニハ十一月四日ニ行啓、紫雲山金戒光明寺ニ於テ本堂・佛殿・書院ヲ始メ、熊谷堂等ヲ御巡覽ノ後、東ノ石階ヲ經テ御左折、紫雲石ヨリ鈴聲山眞正極樂寺ニ到ラセラレ、更ニ銀閣寺ニ著カセ給ヒ、堂内ニアリテハ寶物ヲ御覽アリ、庭園ニ下リ給ヒテハ岩石ノ配置林泉ノ妙、眞ニ宜シキ間ヲ靜ニ御散策アリ。猶ホ後日金閣寺ニモ御遊覽アラセラ

黒谷御遊歩

圖書寮

宇治御遊覽

レタリ。

宇治ニハ十一月六日行啓、先ヅ宇治町上田市左衛門方ニ御少憩ノ後、御徒歩ニテ平等院ニ臨マセ給ヒ、鳳凰堂ヲ御覽アラセラル。抑、平等院ハ左大臣源融ノ別業ノ地タリ。融其ノ風光ヲ愛シ、屢、清遊ヲ試ミシガ、後、御堂關白藤原道長ノ有トナリ、之ヲ子關白頼通ニ譲ルニ及ビ、永承七年改メテ寺ト爲シ、平等院ト名ツケ、翌八年阿彌陀堂ヲ寺ノ中央ニ建立シ、定朝ヲシテ阿彌陀佛ノ像ヲ造ラシメ、内ニ安置ス。是即チ鳳凰堂ナリ。東面中央三間二面ノ中堂アリ、中堂ハ裳階アリテ入母屋造ナリ。

平等院

大棟ニハ銅ノ鳳凰ヲ置キ、其ノ左右ニ五間ノ兩翼ヲ出シテ廊下ヲ象レリ。中堂ノ後ニハ七間ノ尾廊ヲ附シ、先端ニ至リテ各々前ニ三間折ル。翼廊及ビ尾廊ハ共ニ二層ノ切妻造ニシテ、左右ノ端ニ竇形造ノ銅閣アリ。堂内ニ安置セル阿彌陀如來ノ坐像ハ、定朝一代ノ傑作ト稱セラレ、藤原時代ノ阿彌陀佛ノ典型タリ。扉ノ色紙形ハ堀川左府俊房ノ筆ト云ヒ、四壁竝ビニ扉全面ニ描ケル釋迦八相淨土九品圖ハ宅摩爲成ノ筆ト傳フ。其ノ他柱・天井ヨリ楯上ニ至ルマデ悉ク佛像ヲ描キ、壁間ニハ五十一體ノ木彫雲中供養佛ヲ懸ケ、一以テ藤原時代文化ヲ誇ラザルモノ

離宮八幡宮御拜

無シ。御巡覽ノ後、再ビ上田方ニ御少休アリ。時ニ貞愛親王參館セルヲ以テ、晝餐ヲ御會食アラセラレ、午後一時親王ヲ伴ヒ、御徒歩ニテ宇治橋ヲ渡リ、本邦最初ノ曹洞宗禪刹興聖寺ヲ經テ離宮八幡宮ニ御參拜アリ、蓋シ本宮ハ一ニ宇治神社ト云ヒ、應神天皇ノ皇子菟道稚郎子ヲ祀ル式内郷社タルヲ以テナリ。御拜ノ後、附近ニ於テ朝日燒陶器製造ノ態ヲ覽給フ。是ヨリ馬車ニテ萬福寺ニ赴カセラレ、堂宇・伽藍等ヲ御巡覽アリ。抑々當寺ハ黃檗禪宗ノ本山ニシテ、寛文元年明國ノ歸化僧隱元ノ建立スル處ナリ。其ノ建築ハ純然タル明朝ノ様式ヲ模シ、堂坊

萬福寺

ノ内到处支那趣味ノ洋溢セルヲ以テ名アリ。御巡覽後、別院松陰堂ニテ御少休、八十五歳ニ達セル田能村直入ノ席畫ヲ覽給ヒ、四時三十五分還啓アラセラレタリ。

二條離宮御滞在中ニ於ケル近郊名所舊蹟ニ行啓ノ專略、上記ノ如ク、離宮ヲ中心トシテ或ハ東北・東南ニ、或ハ西北・西南ニ御遊行アリ、更ニ遠クハ比叡・北山方面ニ、然ラザレバ嵯峨・西山方面ニ、將又山科・宇治方面ニ御清遊アリ、名所舊蹟ハ素ヨリ風俗民情ノ一端ヲモ親シク御見聞アラセラレシガ、上記ノ外、十月二十八日ヨリ御二泊ニテ奈良ニ行啓アラセラレタルヲ以テ、是ヨリ其ノ

奈良行啓

御動靜ヲ謹述シ奉ラントス。

奈良行啓ノ御目的ハ神武天皇ノ山陵ニ謁シ給フニアリ。サレバ十月二十八日午前六時四十五分二條離宮ヲ馬車ニテ御出門アリ、東宮大夫候爵中山孝麿・東宮武官長男爵黒田久孝以下ヲ隨へ、七條停車場ヨリ奈良鐵道會社差廻シノ臨時列車ニ御搭乘、畝傍停車場ニテ御下車後、直ニ畝傍山東北陵勅使館ニ向ヒ給ヒ、御少憩ノ後、御服ヲ正裝ニ改メ、藤田諸陵助ニ先導セシメ、山陵ニ參拜アラセラル。畢リテ再ビ勅使館ニテ御服ヲ改メ畫餐アラセラル。午後一時三十分館ヲ出デ綏靖天皇ノ桃花鳥田丘上陵ヲ御

畝傍山東北陵御參拜

桃花鳥田丘上陵御拜

ノ内到處支那趣味ノ洋溢セルヲ以テ名アリ。御巡覽後、別院松陰堂ニテ御少休、八十五歳ニ達セル田能村直入ノ席盡ヲ覽給ヒ、四時三十五分還啓アラセラレタリ。

二條離宮御滞在中ニ於ケル近郊名所舊蹟ニ行啓ノ專略、上記ノ如ク、離宮ヲ中心トシテ或ハ東北・東南ニ、或ハ西北・西南ニ御遊行アリ、更ニ遠クハ比叡・北山方面ニ、然ラザレバ嵯峨・西山方面ニ、將又山科・宇治方面ニ御清遊アリ、名所舊蹟ハ素ヨリ風俗民情ノ一端ヲモ親シク御見聞アラセラレシガ、上記ノ外、十月二十八日ヨリ御二泊ニテ奈良ニ行啓アラセラレタルヲ以テ、是ヨリ其ノ

奈良行啓

御動靜ヲ謹述シ奉ラントス。

奈良行啓ノ御目的ハ神武天皇ノ山陵ニ謁シ給フニアリ。サレバ十月二十八日午前六時四十五分二條離宮ヲ馬車ニテ御出門アリ、東宮大夫候爵中山孝麿・東宮武官長男爵黒田久孝以下ヲ隨ヘ、七條停車場ヨリ奈良鐵道會社差廻シノ臨時列車ニ御搭乘、畝傍停車場ニテ御下車後、直ニ畝傍山東北陵勅使館ニ向ヒ給ヒ、御少憩ノ後、御服ヲ正裝ニ改メ、藤田諸陵助ニ先導セシメ、山陵ニ參拜アラセラル。畢リテ再ビ勅使館ニテ御服ヲ改メ晝餐アラセラル。午後一時三十分館ヲ出デ綏靖天皇ノ桃花鳥田丘上陵ヲ御

畝傍山東北陵御參拜

桃花鳥田丘上陵御拜

春日神社御参拜

参拜アリ。畝傍停車場。奈良停車場間ハ再ビ汽車ニ乗り給ヒ、二時二十五分人力車ニテ奈良俱樂部ニ安着アラセラレ、文秀女王ニ御對面、奈良縣知事水野寅次郎以下地方官ニ謁ヲ賜フ。斯クテ奈良第一日ノ御日程ヲ過サセラレ、二十九日ハ諸所御見聞ニ充テ給フ。先ツ午前九時俱樂部ヲ御出門、官幣大社春日神社ニ御参拜アリ、親シク三々五々打チ集ヘル神鹿ヲ覽給ヒ、手向山八幡宮ニモ御巡拜ノ後、東大寺ニ到リ大佛殿ヲ御覽アラセラル。殿ハ即チ金堂ト云フ。天平勝寶三年創立セラレシガ、兵燹ニ會ヒテ跡ヲ止メズ。現存建築ハ寶永二年上棟セラレタル

東大寺御遊覽

圖書寮

正倉院御遊覽

モノナリ。然レドモ内部中央ニ安置セル五丈三尺五寸ノ大毘盧舍那佛ノ坐像ハ、天平十九年ノ鑄造ニシテ所々ニ修補ノ跡ヲ見ルト雖モ、天平藝術ノ粹ヲ能ク傳フルモノナリ。後更ニ二月堂。三月堂ヲ始メ、附近諸所ヲ御巡覽アリ、遂ニ正倉院御物整理掛事務所ニ到リ御少憩アリ。偶々曝涼中ナルヲ以テ文事秘書官帝室寶器主管股野塚ニ先導セシメ、説明ヲ聽キ給ヒツツ天平以來ノ御物ヲ台覽、十一時二十分奈良俱樂部ニ御歸館アリ。午後ヨリ更ニ興福寺ニ臨ミテ堂宇諸塔ヲ御巡覽アリ、猿澤池邊ヲ御遺遊アラセラル。時ニ奈良縣尋常師範學校及ビ奈良縣立尋常

法隆寺御遊覽

中學校生徒等野球ヲ御慰ニ供シ奉レリ。尋イデ帝國奈良博物館ニ立寄ラセ給ヒ、館長山高信離ノ先導ニテ一巡ノ後、倶楽部ニ御歸館アラセラル。三十日ニハ法隆寺ヲ御遊覽アリ。男爵北畠治房ノ説明ヲ聽キ給ヒテ堂塔伽藍ヲ御巡覽、更ニ太子堂ニ入りテ什寶ヲ台覽アラセラル。夫ヨリ中宮寺ニ臨ミ盃餐、尋イデ夢殿ヲ御覽アラセラレ、法隆寺停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、京都二條離宮ニ遊啓アラセラル。時ニ午後四時二十五分ナリ。猶ホ奈良御滞在
中開化天皇春日率川坂上陵。聖武天皇佐保山南陵。皇后光明子佐保山東陵ニ東宮侍從ヲ御代拜トシテ參向セシメ

賜金

ラレタリ。

上記ハ京都奈良地方行啓中ノ主ナル御動靜ニシテ、其ノ間、或ハ該地在任勅奏任官。華族。各宗派管長。門跡等ニ謁ヲ賜ヒ、或ハ會テ宮中ニ奉仕セシ舊女官等ヲ引見アラセラルル等、極メテ御多忙ニ涉ラセラレタリ。其ノ他、市民ノ生活ヲ御心ニ懸ケ給ヒテハ衛生費ヲ、學術ノ振興ヲ思召シテハ學資金ヲ下賜アラセラレ、高齡者ヲ憫ミ給ヒテハ養老賜金ノ御沙汰アリ。又養正社ニ於テ王政維新ニ當リ、國事ニ盡瘁セシ贈右大臣三條實萬以下四百五十餘名竝ビニ志士ノ招魂祭執行ノ趣ヲ開召シ、特ニ祭

還啓

乘料ヲ賜フ等ノ事アリ。斯クテ御豫定ノ日數ヲ費シ給ヒ、十一月九日午前十時四十分二條離宮ヲ御出門、京都停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、還啓ノ途、岐阜ニテ御下車、西本願寺別院ニ御一泊、尋イデ翌十日沼津御用邸ニテ更ニ御一泊、十一日午後一時五十二分新橋停車場ニ著カセラル。是ヨリ先、京都停車場ニ於テハ奉送ノ貞愛親王竝ビニ邦憲王ニ御對顔アリ、諸員ノ奉送ヲ受ケ給ヒ、岐阜ニテハ別院ニ於テ岐阜縣知事安樂兼道等ニ、沼津御用邸ニ於テハ靜岡縣知事加藤平四郎以下ニ謁ヲ賜ヘリ。而シテ今ヤ新橋停車場ニ著カセ給ヘバ、驛頭ニ彰仁親王・依仁親王

圖書寮

御歸京後參内

竝ビニ威仁親王親シク迎ヘサセラルルヲ始メトシ、文武百官ノ奉迎ヲ受ケサセ給ヒ、二時二十分東宮御所ニ御機嫌克ク還啓アリ。參殿ノ威仁親王ニ御對顔、天皇・皇后御使典侍高倉壽子、御妹昌子。房子兩内親王御使伯爵佐佐木高行、御妹允子。聰子兩内親王御使子爵林友幸、御妹多喜子内親王御使男爵揖取素彦。内閣總理大臣侯爵山縣有朋。東宮監督侯爵大山巖。陸軍大臣子爵桂太郎。宮内大臣子爵田中光顯等ニ謁ヲ賜フ。尋イデ十二日參内、天皇・皇后ニ謁シ奏啓アラセラルル處アリ。御土産品寄木篋筒。七寶燒。友禪縮緬。養老酒等ヲ進獻アラセラル。

供奉員

陸軍歩兵少佐・海軍少

猶ホ京都行啓ニ當リ供奉ヲ命ゼラレタル者ニ、東宮大夫侯爵中山孝麿・東宮武官長男爵黒田久孝。東宮侍從長子爵高辻修長。宮中顧問官男爵橋本綱常。東宮侍從丸尾錦作。同鍋島精次郎。同子爵稻葉正繩。同子爵大迫貞武。東宮武官村田惇。同武富邦鼎。侍醫桂秀馬。同伊勢鏡五郎等アリ。

行啓録・侍從長日記・常侍官日記・庶務課日記・高辻修長日記・官報・皇后宮職日記・總務課退録

十月十三日、東宮職出仕子爵酒井忠勇ノ本職ヲ免ゼラル。 總務課退録・官報

十一月三日、天皇、侍從子爵西四辻公兼ヲ行啓先キ二

ル 佐ニ任ゼラ

條離宮ニ遣シ、皇太子ヲ陸軍歩兵少佐ニ任ジ、且ツ海軍少佐ニ任ジ給フ旨ヲ啓シ、其ノ官記ヲ奉ラシム。即チ公兼ニ謁ヲ賜ヒ之ヲ受ケサセラル。因ニ海軍ニハ從來軍籍ヲ有チ給ハザリシガ、威仁親王奏スル處アリ、此處ニ御任官ノ御沙汰アリシナリ。後、皇太子東宮御所還啓ノ翌日、即チ十一月十二日參内ノ際昇進竝ビニ任官ノ恩ヲ奏啓アラセラレタリ。

侍從長日記・庶務課日記・行啓録・高辻修長日記・官報・威仁親王行實

十三日、天皇、大演習御統監ノ爲メ大阪ニ行幸アラセラルルニヨリ午前七時御出門、新橋停車場ニテ奉送、八時十三分還啓、尋イデ二十一日演習地ヨリ還幸ニヨリ午

皇后・内親王ト御會食

皇族王子女誕生ニ際シ

後一時十五分御出門、新橋停車場ニ行啓、天皇ヲ奉迎、御同列ニテ參内、五種交魚壹折ヲ進獻、二時五十五分還啓アラセラル。侍從長日記・常侍官日記・庶務課日記・侍從職日記・官報

十四日、午前十時三十分御出門參内、天皇行幸中ニヨリ皇后ノ御機嫌ヲ候ハセラレ、御妹昌子。房子。允子。聰子。多喜子各内親王ト俱ニ午餐ノ御會食ヲ賜ハレル後、

皇后ニ從ヒテ紅葉山ヲ御遊歩、午後三時四十五分還啓アラセラル。行啓録・侍從長日記・常侍官日記・庶務課日記・高辻修長日記・官報・皇后宮職日記・御直官御養育掛日記

十九日、載仁親王第三女子季子女王。博恭王第一女子

圖書寮

賜物

常備艦隊ニ行啓

恭子女王ノ誕生ヲ祝シ物ヲ賜フ。皇族王子女ノ誕生ヲ祝セラルルコトコレヲ以テ始メト爲ス。庶務課日記・例規錄・贈賜錄

二十六日、横須賀軍港碇泊ノ常備艦隊ニ行啓ノ爲メ東宮賓友威仁親王。東宮監督候爵大山巖。花御殿伺候伯爵土方久元竝ビニ東宮大夫候爵中山孝層以下ヲ隨ヘ、午前六時三十分御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、海軍大臣海軍中將山本權兵衛以下多數ノ陸海軍將校及ビ農商務大臣會根荒助等ノ奉送ヲ受ケ給ヒ横須賀ニ向ハセラル。八時四十五分横須賀停車場御著、奉迎ノ横須賀鎮守府司令長官海軍中將鮫島員規。第一師團長陸軍中將男爵川村

景明以下陸海軍將校ニ謁ラ賜ヒ、逸見波止場ヨリ端艇ニ
 テ軍艦富士ニ御移乗、常備艦隊司令長官海軍中將柴山矢
 八竝ビニ常備艦隊司令官海軍少將野村貞。同海軍少將河
 原要一以下八島。殿島。松島。鎮遠。浪速。富士。高砂。
 秋津洲。高雄。愛宕ノ各艦長ニ謁ラ賜フ。尋イデ港外ニ
 於テ艦隊運動ヲ台覽、^御靈餐ノ後、再ビ艦橋ニ於テ戦闘操
 練。水雷艇防禦艦隊運動及ビ水雷艇隊襲撃ヲ台覽アリ。
 午後二時十分富士御退艦、逸見波止場ニ御上陸、横須賀
 停車場ヨリ汽車ニテ新橋停車場ニ著カセラレ、四時五十
 五分還啓アラセラル。侍從長日記。常侍官日記。庶務課
 日記。高辻修長日記。官報。行啓

圖書寮

假東京御所
ニ御移徙

録

十二月一日、東京御所御造營ニ依リ青山離宮ヲ以テ、
 假ニ東京御所卜定メ花御殿ヨリ御移轉アラセラル。乃チ
 午前十時陸軍通常禮裝ニテ御出門、東京武官長男爵黒田
 久孝陪乘、十時十五分青山離宮ニ御著、御車寄ニ於テ先
 著ノ東宮侍從長子爵高辻修長ヲ始メ各常侍官。侍講等奉
 迎ス。天皇。皇后五種交魚壹折ヲ賜ヒ、御妹昌子。房子。
 允子。聰子。多喜子五内親王モ亦五種交魚壹折ヲ進ゼラ
 ル。爾長日記。侍官日記。侍從長日記。庶務課日記。
 高辻修長日記。皇親錄。行啓錄。官報。侍從職日記。
 三日、午前八時三十分御出門、御移徙後始メテ參内、

大隈重信邸
ニ行啓

歸途、學習院ニ臨ミ、學生ノ授業ヲ御巡覽、十時四十五分還啓アラセラル。午後威仁親王・依仁親王・成久王・恒久王・輝久王ニ御對顔アラセラル。兩長日記・常侍官日記・庶務課日記

四日、午前十時御出門、東京府豊多摩郡下戸塚村字早稻田ナル伯爵大隈重信邸ニ行啓、重信並ビニ妻綾子ニ謁ヲ賜ヒ、銀盃壹組・紅白縮緬各壹疋ヲ賜フ。重信、川端玉章・村瀬玉田ノ席書、狂言三番等ヲ御慰ニ供ス。午後三時二十五分還啓アラセラル。行啓録・高辻修長日記・庶務課日記・侍從長日記・官報・侍從職日記

圖書寮

東宮賓友・
東宮監督ニ
物ヲ賜フ

六日、午後一時東宮賓友威仁親王ニ御對顔、山水並ビニ稻雀ノ齋貳幅ヲ賜ヒ、東宮監督侯爵大山巖・花御殿伺侯伯爵土方久元ニモ亦賜物アリ。高辻修長日記・兩長日記・常侍官日記・庶務

新濱御料地
ニ御遊獵

十一日、午前七時依仁親王ヲ伴ヒテ假東宮御所御出門、千葉縣新濱御獵場ニ行啓、數回狩獵ヲ儘シ給ヒ、小鴨數十羽ヲ獲サセラル。又池塘ニ於テハ投網ノ御慰アリ、四時三十分還啓アリ。翌十二日御獵ノ小鴨貳拾五羽ヲ天皇・皇后ニ進獻アラセラル。官報・行啓録・高辻修長日記・常侍官日記・庶務課日記・兩長

東宮記ノ編纂

十六日、是ヨリ先、明宮記ニ續キ東宮記編纂ノ議起リシガ、是ノ日、東宮亮足立正聲ヲ東宮記編纂主任ト爲シ、東宮侍從丸尾錦作ヲシテ東宮記編纂ニ當ラシム。總務課 進退録

習志野ニ行啓

十七日、習志野行啓ニヨリ午前七時三十分御出門、東宮大夫候爵中山孝麿・東宮武官長男爵黒田久孝等ヲ隨ヘ、本所停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、津田沼停車場ニテ御下車、人力車ニテ御旅館藥園臺穴倉慶助方ニ著カセラル。尋イデ御服ヲ獵裝ニ改メ、佐獵裝ノ後、主獵局長山口正定ノ先導ニテ御獵場ニ入り給フ。雉子壹羽ヲ獲、午後五時御旅館ニ御歸館アリ。翌十八日威仁親王ヲ加ヘ、同様御狩獵

御遊獵

圖書寮

還啓

清國公使ヲ引見

アリ、御野立所ニテ親王ト壹餐御會食、午後一時御旅館ニ御歸館ノ後、人力車ニテ津田沼停車場ニ御著、往路ノ如ク汽車ニテ本所停車場御歸著、三時三十五分假東宮御所ニ還啓アラセラル。即チ、天皇・皇后ニ雉子貳拾五羽。鳩拾羽等ヲ進獻、威仁親王ニモ亦雉子貳羽ヲ賜ヘリ。行啓 録・高辻修長日記・雨長日記・常侍官日記・庶務課日記・官報
二十二日、午前十一時謁見所ニ於テ本邦駐劄新任清國特命全權公使李盛鐸ヲ引見アラセラル。東宮大夫候爵中山孝麿・東宮侍從長子爵高辻修長・東宮武官長男爵黒田久孝侍立ス。外務録・雨長日記・常侍官日記・官報

活動寫眞御覽

二十三日、午前十時御出門參内、午後零時四十分還啓アラセラル。天皇ヨリ孔雀掛物荒木十壹幅。梨地御硯箱壹個。黄銅象眼入花瓶壹對ヲ拜領アラセラル。午後四時御妹昌子。房子。允子。聰子四内親王竝ビ威仁親王。載仁親王ニ御對顔、晚餐御會食ノ後、佛蘭西國人ウゝるノ著色寫眞及ビ活動寫眞ヲ台覽、御興勢カラズ。諸員ニモ亦陪覽ヲ賜フ。因ニ聰子内親王ハ幼少ノ故ヲ以テ晚餐前ニ退下セリ。高辻修長日記・南長日記・常侍官日記・庶務課日記・御直宮御養育掛日録・官報

二十五日、午前九時四十分御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、沼津停車場ニテ御下車、午後三時四十五分

沼津ニ御遊幸

圖書寮

供奉員

沼津御用邸ニ御安著、爾後、明年四月一日迄御遊幸アラセラル。是ヨリ先、假東宮御所御出門ニ當リ、天皇御使侍從侯爵廣幡忠朝、皇后御使典侍高倉壽子ニ謁ヲ賜ヒ、新橋停車場ニ於テハ威仁。載仁。依仁三親王竝ビ恒久王ニ御對面、御妹昌子。房子兩内親王御使伯爵佐々木高行、御妹允子。聰子兩内親王御使子爵林友幸、御妹多喜子内親王御使男爵掛取素彦ニ、又御安著後靜岡縣知事加藤平四郎等ニ謁ヲ賜ヘリ。

猶ホ御遊幸ニ當リ供奉ヲ命ゼラレタル者ニ、東宮大夫侯爵中山孝麿。東宮武官長男爵黒田久孝。東宮侍從長子

爵高辻修長。東宮亮足立正聲。東宮侍從丸尾錦作。同編
 島精次郎。同子爵稻葉正繩。同子爵大迫貞武。東宮武官
 村田惇。同武富邦鼎。同田内三吉。同山路一善。同伯爵
 清水谷實英。東宮侍講本居豐顯。同三島毅。同三田守眞。
 東宮職御用掛醍醐忠敬。東宮御用掛男爵名和長憲。侍醫
 西郷吉義。同片山芳林。同伊勢鏡五郎。同池邊棟三郎。
 侍從子爵西四辻公業等アリ。但シ西四辻侍從ハ聖旨ニ依
 リテナリ。

行啓録・兩長日記・常侍官日記・高辻修長
 日記・總務課進退録・官報・皇后宮職日記

3202 209

64047

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

3202 210

